

大学DX期の学習支援・教育改善 ―

開催:2021年9月7日(火)

教育・学習データ利活用の新展開と実際

～ 利活用ポリシー／システム設計と運用／個人情報保護／学習分析(LA) ～

※ 教育・学習データ利活用の背景／範囲と目的・制度設計・環境整備・人材育成／教育DXの近未来

※ 利活用ポリシー～その必要性・国外事例・AXIESにおけるひな形の策定／実際と今後の展望

※ [九州大] LAセンターの始動と取組み／分析事例／オンライン授業への適応／教育・学習の改善

● 講師陣 ●

久富 望 氏 / 京都大学 大学院教育学研究科 助教 (情報担当)

上田 浩 氏 / 法政大学 情報メディア教育研究センター 教授

大学ICT推進協議会 (AXIES) 教育技術開発部会 主査

島田 敬士 氏 / 九州大学 ラーニングアナリティクスセンター システム運用部門長

大学院 システム情報科学研究院 教授

学修歴・成果の可視化と教学責務 ―

開催:2021年8月5日(木)

DX時代におけるIRの本質的な存在意義と機能強化の方向性

～ IRが、大学教育や大学文化の破壊者とならないために、いま本当に考えなければならないこと ～

※ 教育・研究・社会貢献等の目的としての責務／法令遵守、説明責任等のマネジメント上の責務

※ 今こそEMIRが必要／IRを再定義／DXの本質／データの民主化とデータガバナンスの実現

● 講師 ●

福島 真司 氏 / 大正大学 エンロール・マネジメント研究所 所長

地域創生学部 教授

デジタル&オフキャンパスでのさらなる深化 ―

開催:2021年7月13日(火)

学事暦の再構築と教学運営の実際 III

～ 新型コロナ禍で加速／クォーター制とセメスター制の併用／運用と検証 ～

※ [武蔵野大] 4学期制による学修質向上／積み上げ型からスパイラル学修へ／オンライン化経験

※ [新潟大] 「クォーター制」の運用～5パターンの開講形態／長期学外学修／初年次教育改革

※ [神戸大] 「2学期クォーター制」の導入、影響、課題／見直しのプロセス／本質的問題とは

※ [津田塾大] 4ターム制の導入と学外学修の進展／活動実績／内部・外部評価と今後の課題

● 講師陣 ●

北條 英勝 氏 / 武蔵野大学 副学長

福島 治 氏 / (国) 新潟大学 副学長 (学務担当)

教育・学生支援機構 教育プログラム支援センター長

近田 政博 氏 / (国) 神戸大学 大学教育推進機構 教授

全学評価・FD委員会 委員長

大島 美穂 氏 / 津田塾大学 総合政策学部 教授

前 副学長 (教学・国際担当) 前 学外学修センター長



地域科学研究会 高等教育情報センター

Eメール:kkj@chiikikagaku-k.co.jp

TEL:03-3234-1231FAX:03-3234-4993

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10 ライオンズマンション平河町101

お申込み書は3ページ目です。



教育・学習データ利活用の新展開と実際

2021年9月7日(火)

時間	講義項目	
11:00 ～ 12:30	□ 教育・学習データ利活用の概論と展望 1. 教育・学習データ利活用の背景 2. 教育・学習データ利活用の全体像	京都大学 久富 望 3. 教育DXの近未来
13:30 ～ 15:00	□ 教育・学習データ利活用ポリシーのひな型の策定と利用 1. 学習データの利活用ポリシーの必要性 2. 国外の事例 3. AXIESにおける「教育・学習データの利活用ポリシー」の策定 4. 法政大学におけるLAへの取り組み 5. 今後の展望	法政大学 上田 浩
15:10 ～ 16:30	□ 九州大学ラーニングアナリティクスセンターの始動と取り組み 1. 九州大学における教育システムの運用 2. 学習分析(ラーニングアナリティクス) 3. 教育・学習の改善への取り組み	九州大学 島田 敬士

講義項目の詳細 <http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/seminar/210907.pdf>

DX時代におけるIRの本質的な存在意義と機能強化の方向性

2021年8月5日(木)
大正大学 福島 真司

時間	講義項目	
11:00 ～ 12:30	I. 高等教育を取り巻く内外環境と大学の責務 1. インサイド:エビデンスデータ重視と内部質保証システムへの期待 2. アウトサイド:EBPMとテクノロジーの発展 3. 大学の責務	
13:30 ～ 15:00	II. IRが、大学教育や大学文化の破壊者とならないために、いま本当に考えなければならないこと 1. 今こそEMIRが必要 2. 今こそIRの本質的な機能強化が必要	
15:10 ～ 16:30	III. IRを再定義する 1. 目標や責務の考え方 2. 業務の考え方 3. 組織構成の考え方	
15:10 ～ 16:30	IV. DX時代におけるIRの本質的な存在意義と発展の方向性 1. DXの本質「データの民主化」とそれを支える「データガバナンス」 2. DXの成功も、IRの未来も、「グッド・ガバナンス」と共にある	

講義項目の詳細 <http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/seminar/210805.pdf>

学事暦の再構築と教学運営の実際 III

2021年7月13日(火)

時間	講義項目	
11:00 ～ 12:30	□ [武蔵野大] 4学期制による学修の質向上と学外学修プログラムの課題から刷新へ 1. 4学期制導入の目的と経緯 2. 積み上げ型カリキュラムと留学・学外学修の促進についての現状と課題 3. 本学中長期計画とコロナ禍における授業のオンライン化経験をふまえて 4. 学外学修を活かしたスパイラル学修とカリキュラムの再検討	武蔵野大学 北條 英勝
13:30 ～ 15:00	□ [新潟大] 「クォーター制」による長期学外学修の加速 1. クォーター制の導入と現在の運用 2. 新潟大学の長期学外学修 3. 初年次教育の見直し	(国)新潟大学 福島 治
15:10 ～ 16:30	□ [神戸大] 「2学期クォーター制」の導入、課題、そして見直し 1. 「2学期クォーター制」の導入と課題 2. 「2学期クォーター制」をどうやって見直すか 3. 学事暦の変更が意味するもの	(国)神戸大学 近田 政博
15:10 ～ 16:30	□ [津田塾大] 4ターム制・ギャップタームと学外学修 1. 4ターム制の導入と学外学修センターの設置 2. 学外学修の進展と内容 3. 4ターム制・学外学修への評価	津田塾大学 大島 美穂

講義項目の詳細 <http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/seminar/210713.pdf>

地域科学KKJメディア参加申込書

(ご希望のセミナーの□に☑を)

- 2021/9/7 開催「教育・学習データ利活用の新展開と実際」

<http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/seminar/210907.pdf>

定価 42,000 円(税・送料込)

- 2021/8/5 開催「DX時代におけるIRの本質的な意義と機能強化」

<http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/seminar/210805.pdf>

定価 30,000 円(税・送料込)

- 2021/7/13 開催「学事暦の再構築と教学運営の実際 Ⅲ」

<http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/seminar/210713.pdf>

定価 43,000 円(税・送料込)



勤務先 _____

所在地 (〒 _____)

申込部課名 _____

申込連絡者 _____

TEL _____

FAX _____

E-mail _____

必要書類 (☑を入れて下さい／納品書はお送りいたします)

見積書 日付 (/ /) 請求書 (/ /) 領収書

請求書等に記載の宛名 _____

◆ お申込み・お問い合わせ先 ◆

地域科学研究会 高等教育情報センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10

ライオンズマンション平河町 101

TEL(03)3234-1231 FAX(03)3234-4993

E-mail kkj@chiikikagaku-k.co.jp